

平成 26 年度 研修事業

県商の先輩・川西英画伯(33 回生)特別展鑑賞会と昼食会実施報告

日 時	平成 26 年 10 月 12 日 (日)
会 場	神戸市立小磯記念美術館 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ
参加者	32 名

台風の接近で前日までうっとうしいお天気が続きましたが、当日は秋晴れに恵まれ参加者 32 名は芸術の秋と食欲の秋を満喫し親睦を深めました。

川西英画伯は 1894 年(明治 27 年)に神戸市兵庫区で誕生し、県商を卒業。独学で創作版画に取り組み神戸に根を下し、異国情緒あふれる神戸の街から受ける刺激を作品に活かし完成した作品は何れも話題となりました。

今回の回顧展では川西英生誕 120 年を記念して約 400 点の作品と資料により川西英の生涯の画業が紹介されました。

この企画展は母校である県商や同窓会にとっても大変名誉なことであります。

画伯の作品の中でも『神戸百景』や『兵庫百景』は有名ですが、「港」や「みなと祭り」「王子動物園」や「六甲山」そして「北野」など神戸の原風景を描いた作品は昭和 20 年から 30 年代の作品とか、ローカルな題材でありながらモダンな色使い、原色の緑や青や黄色に赤と奇抜な配色は寧ろ斬新で神戸から愛された川西英の活気溢れる作品ばかりでした。

また、サーカスやオペラを題材にした作品にも人気が集まり、鮮烈な印象は今の時代にあっても決して劣らない新鮮さと鮮度の落ちない作品に魅了され瞬く間に川西英の世界へと導かれていきました。

その後、会場の入り口で記念写真、そしてホテルでのランチタイムへと移動し、芸術の秋と食欲の秋を堪能し家路に着きました。

ご参加いただいた皆さん有難うございました。

研修企画委員会



平成 26 年 10 月 12 日 《小磯記念美術館前》